

まちを美しく 私たちのまちは私たちの手で

一日42トンのゴミ 市民参加で焼却場の実現を



経済社会の発展と市民生活の向上につれ、廃棄物は急激に増加し、その種類も多様化しています。とくに産業廃棄物の膨大化、処理に問題のある粗大ゴミ、ポリやビニール類など、どこの市町村もがかかえている共通の悩みといえます。東京都ではゴミ戦争を宣言し自治戦争として、行政と住民のゴミに対する意識の変革が求められています。市でも焼却場の必要性が叫ばれながら、地域住民の反対で実現できません。市民ひとりひとりが市政

における真の主人であるという認識のもとに「もう他の町村にはまかせておけない」私たちのまちのゴミは、私たちのまちで処理する市民相互の理解のもとに、一日も早く焼却場を設置しなければなりません。現在の焼却能力は一日七ト、その他は穴を掘って埋めるという原始的な方法によっています。そのため十分な回収ができていませんが、能率的な方法で収集区域の拡大をはかる計画がされていますので、市民の協力が望まれています。

市民一人あたりのゴミの量は、一日に一・二箱、市全体では一日に四十二ト、一年間では一万五千トにものぼることになります。現在、市では六千七百世帯、二万五千八百人のゴミを収集していますが、これは全体の五十四割でしかありません。収集のためにはパッカー車など五台、田岡公害環境課長をチーフに五人の職員と収集、焼却の作業員十六人が、日夜ゴミ戦争と戦っています。

ところでゴミの焼却能力は、旧長岡村の焼却炉二ト、簡易焼却炉三ト、土佐山田町への委託二トその他の民有地を借りて埋めている状態です。

市で計画している焼却炉は、一

日八十トを焼却する機械炉で、二十四時間連続焼却できる新鋭機であるだけに、これが早急な実現が望まれています。

膨大なゴミを収集するためには市民のご協力が必要です。家庭では、次のことを守ってください。

□……普通のゴミは、包装紙などの紙クズはできるだけ家庭で焼却するようにしてください。ドラムかんや石油かんをちよつとくふうすると簡単な焼却炉ができます。

住宅の密集地区で、火災の心配があるため焼却できないところは、ビニール袋やダンボール箱詰めにしておく口をしばり収集の日に出してください。

□……営業用のゴミは個人で、後免町商店街は、週二回の回収をしていますが、営業用のゴミが非常に多くてすぐに車がいっぱいになります。そのため一般家庭にしわ寄せがいくことにもなっていますので、営業用のものは個人で責任をもって処理してください。

□……台所から出るぬれたゴミは水分の多い残飯や野菜、くだものくずなど台所のゴミは、燃えにくいので、よく水を切つて小さなビニール袋に入れてから、大きな袋やポリ容器などに入れてください。

水を十分切つてなかったり、袋などに入れないで、そのまま出し

であるところがありますが、集積場所が非常に不衛生になり、となり近所にご迷惑をかけます。また収集するときに困りますので、かならず小さなビニール袋に入れてください。

□……袋に入れてはいけないもの
集めたゴミは袋ごと焼却しますので、ガラス・ビン・空かんなど燃えないものや爆発のおそれのある電球・ヘアスプレーの容器などは絶対に入れないでください。これらの危険物は、別に木曜日回収します。

□……危険物はこんなに
ゴミと同じように炭俵・かます・肥料袋などのビニール袋など雨にあつたり、取り扱いのとき荷造りがこわれないものを利用してください。

袋は口をしつかりしめ、回収日の前日に集積場所だしていただきます。あまり早くから出しておくと危険なうえまちの美観もそこねます。回収の要否については、前日までに公害環境課へご連絡ください。連絡のないときは、回収の必要がないものとして回収しませんので気をつけてください。

□……回収の日時と場所
普通のゴミ・危険物を集める場所と日時は今までとおりですが、近く再検討して収集区域の拡大と能率的な収集計画がつけられます。くわしくは決まり次第お知らせします。